

今号の主な内容

【特集】国際交流事業

- 第12回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団
「日韓交流の旅」韓国・水原市訪問日記 1～4
- ゆふいん財団掲示板 4

【発行日】2013年11月11日
【発行】公益財団法人人材育成ゆふいん財団
【発行人】溝口薫平
【編集責任者】霜野圭一
【編集】人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所／湯布院町川上2863
TEL／85-4748 FAX／85-4759
E-mail：info@yufuin-zaidan.jp
H.P：http://www.yufuin-zaidan.jp

【特集】国際交流事業

**使節団が元気に交流をしてきました!!
今年から3泊4日韓国・水原への訪問です!!**

第12回 ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団

「日韓交流の旅」韓国・水原訪問日記 2013年8月1日(木)～4日(日)

第12回ふれあい交流使節団が8月1日から4日間の日程で韓国の水原市を訪問し、無事に帰国しました。交流先は水原市青少年育成財団。今年から3泊4日の旅程となり、韓国・水原市で2泊のホームステイを含め、現地の家族と生活を共にしながら交流をしてきました。昨年の2月からお互いの国と地域を行き交う相互交流がスタート。今年の2月に由布市・湯布院を訪れた水原市の子どもたちや関係者と再会しました。

さあ出発です!!



いよいよ韓国・水原市へ向けて出発です。出発式では来賓や保護者など、多くの方々に来ていただきました。使節団を代表して、リーダー湯布院中学校3年の磯部星七が「異文化を学ぶとともにメンバーで力を合わせ、この夏の最高の思い出にします」と決意表明をしました。たくさんのお見送りの中、元気に手を振って出発しました。

バスが福岡空港に到着。協力しながら荷物をおろし、出国手続きを済ませ、搭乗ゲートを通っていざ韓国へ出発。

約1時間半で韓国に到着。到着ゲートを出たところで、水原市青少年育成財団のキムヘランさんと再会です。そしてその隣には、2年前に初めて湯布院を訪れた時の訪問団メンバーの1人、ソンミン君がいました。今回は通訳と

して同行し、交流の架け橋をしてくれます。早速、一行は水原市へと向かいました。

仁川空港から水原市までは、高速道路で約1時間。車窓には日本や湯布院とは違った風景が広がっていました。国土が狭く、地震が少ないこともあり、韓国では基本的に高層ビル・マンションが建ち並んでいます。そして車は右側通行で、日本とはまったく逆方向です。「湯布院とは違う！外国に来た！」ということを感じました。



水原市に到着。最初にホテルの部屋に荷物を預けます。昼食はホテルの隣りの食堂へ行きました。韓国での最初の料理は冷麺です。「辛い冷麺と辛い冷麺のどちらにしますか？」という問いかけに対して、半分は辛い冷麺に手をあげました。使節団の男子、湯

布院中学校2年の大嶋孝弥、東野詢は積極的に辛い冷麺に挑戦しました。

やがて真っ赤な冷麺がやってきました。1口、そして2口と口にします。2人に感想を聞くとはじめは「そんなに辛い」と答えていました。しかし、徐々に「辛い！」という声が店内に響きわたります。ジワジワくる辛さが特徴。帰る頃までには辛さにも慣れてきて「美味しい」となってくれるとうれしいです。

昼食が終わり、水原青少年文化センターを訪問。子ども達が水原青少年文化センターの施設見学をしている間、引率の霜野圭一団長と大澤直彦は、水原市青少年育成財団の本部を表敬訪問。新任のキム・チャンユン理事長、リ・スラク常務理事とお会いし、2月に湯布院を訪問したキム・ヒョンイン氏とも再会を果たしました。

キム・チャンユン新理事長は世界文化遺産の水原華城の史跡調査研究や、写真で史跡の記録を残す活動をされてこられた方です。「何事にも記録を残していくこと」がモットーで、ゆふいんとの共通点を感じました。